

## 【和みの郷 令和4年度事業計画 方針】

今年度、和みの郷は設立 20 年を迎えます。

信愛会の理念「愛・信頼・貢献」を基礎として、創設時に掲げられた「私たちはご利用者と共に和やかにいきいきと自分らしく、支えあって暮らしていきます。」という和みの郷の理念を、原点にもどって捉え直し、日々の実践にいかしていきます。

## 【重点目標】

### ●理念を行動基準とする実践

・相手を大切に思う気持ち「愛」をもって、「信頼」される福祉サービスを提供することで、

地域に「貢献」する。

・ご利用者を中心として、自己決定・選択ができるよう自立支援のケアを提供する。適切な発言が困難なご利用者には、その代弁をして権利の擁護を行う。

### ●ご利用者の尊厳を支える「支援」の意識を持った言葉遣いの実践。

職員自身が品質であるとの自覚を持ち、声のトーン、早さ、表情、言葉選びの感性を磨き、コミュニケーションスキルの向上をめざす。ご利用者に必要とされている「支援」は何かを念頭に置き、気持ちに働きかけ、自立支援を引き出す声掛けを工夫する。

ご利用者・ご家族のみならず、他事業所・職員同士も「よく聴くこと、伝えること」の実践から学ぶ。

### ●労働力減少社会に対応する業務改善

老朽化した入浴設備を更改し環境整備を行うと同時に、職員の効率化が図れるよう業務改善をすすめる。全館の Wi-Fi 環境を整え、携帯端末、記録システム電子化を更に推進し、効率化を図る。ケア業務と周辺業務の仕分けを行い、元気高齢者のマンパワー活用を推進する。

### ●実践力ある人材の育成

他者との違いを受け入れ共にチームとして協働できる人材、自らに求められる役割を認識し適切に行動できる人材を、共に育つ「共育」の視点で実践の中で育成していく。

具体的には、1年後リーダーを担える人材、3年後主任・係長を担える人材の育成を目指す。